

作目名	質問	回答	参考情報
リンゴ	台風で落果したリンゴはどうしたらよいですか	落果リンゴには疫病菌による果実腐敗が発生する可能性がありますし、園地内の落果果実はネズミの餌となるため、取り除きます。処理方法は地域で示された方法に従ってください。	
	台風で水につかった果実はどうしたらよいですか	冠水した果実には、早ければ冠水5日後頃からPhytophthora属菌による果実腐敗（疫病）が発生することが知られています。冠水5日後の調査で7割が発病した事例もあります。樹上での疫病の発生は冠水後初期に多く、次第に減少するものの長期間継続し、収穫時に外観健全な果実であっても貯蔵中に発病する場合があります。感染後の薬剤散布では発病防止効果は期待できません。また、果実が9時間以上水没すると生理的要因による果肉褐変（激しいものは組織の軟化、腐敗を伴う）の発生率が高まることが知られており、樹上で症状が進行し、腐敗が果実外面に達したり、落果します。収穫時に外観健全な果実でも貯蔵中に発症します。以上のように、冠水した果実の市場価値は極めて低くなると思われますので、地域で示された方法で処理してください。	
	水につかった木はどうしたらよいですか	水没した部分の葉や果実は腐敗し、落葉、落果する可能性が高いため、摘果することになります。軽症とみられる場合は、殺菌剤で対応します。	
	土砂が果樹園に流入しました、どうしたらよいですか	樹勢の低下を防止のために流入・堆積した土砂は可能な限り早急に除去するようにします。園内全体の土砂を取り除くことができれば、樹冠下部だけでも取り除くようにします。その際、降雨時に水が溜まらないよう排水路を作っておくとよいでしょう。できるだけ土砂を除去して、ロータリー耕等で0-10 cmを混和することも通気性を確保する上で有効です。	
	風で木が傾きました、どうしたらよいですか	樹が倒伏した場合は、可能な限り根を痛めないように樹を起こし、根元に土を寄せます。状況によっては引き起こしはせずに、傾いたまま、主枝の更新で対応します。	
	風で枝や幹が折れてしまいました、どうしたらよいですか	折れた箇所で切り戻しを行い、切断面にトップジンMペースト等の癒合剤を塗布します。軽い股裂けの場合は、ひも等で結束して傷口に癒合剤を塗布し、樹勢回復を図ります。	
	台風後の病害防止対策について教えてください	腐らん病の発生地域では強風により樹体が傷ついている可能性が高いので、収穫終了後にベフラン液剤25、トップジンM水和剤、ベンレート水和剤のいずれかを特別散布します。重症樹については程度に応じて次年度の着果負担を軽減するなどして樹勢回復をはかり、樹体の病害抵抗性を強化します。	
	冬を迎えるまでに確認すべきこと、対策すべきことはありますか	倒伏や著しい浸水が起こった場合は根が弱り樹勢が低下しますが、このような樹に施肥を行うと発根を抑制する可能性がありますので、樹勢回復のための施肥は行う必要はありません。	
	被災した園地で来春に注意すべきことはありますか	断根による貯蔵養分の減少と養分吸収力の低下による樹勢の低下がみられます。土壌の乾燥防止に努めるとともに尿素を葉面散布して樹勢の回復を図ります。 木の衰弱等により、越冬明け時期のマシン油防除が困難な場合は、その後のカイガラムシ類やリンゴハダニの発生に留意してください。	